

米子水鳥公園にて首輪標識のコハクチョウ、 ロシア・サハリンで密猟される

神谷 要

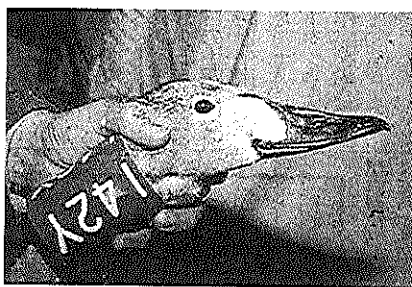
(財) 中海水鳥国際交流基金財団, 683-0855 米子市彦名新田665

2004年10月14日、山陰地方の各新聞社は、ロシアのサハリンで米子水鳥公園にて標識されたコハクチョウが、狩猟者により撃たれた事を報道した(図1)。米子水鳥公園で標識されたコハクチョウでは、初めて海外で確認されたこととなるが、これが違法な狩猟だった可能性が高い。

ロシアでは、州・地方・自治州によって開始と終了の日に多少の違いはあるが、春(5月)と秋(9月)の2回の猟期があり、渡り途中の水鳥たちを狙って狩猟が行われる。今回報告のあった5月20日は、春の猟期にあたるが、一般的にロシア国内では、

図1. 山陰中央新報, 2004年10月14日記事。

米子水鳥公園が標識を着けて放したコハクチョウ(2004年3月撮影、同公園提供)



米子水鳥公園が放鳥

た、と発表した。しかし、コハクチョウは狩猟者に撃たれたらしく、同公園は、ロシアでコハクチョウ保護が徹底されていない現状を残念がっている。側から得た情報では、五

サハリン 狩猟者に撃たれる

米子水鳥公園(米子市彦名新田)は十三日、同公園で標識を着けて放したコハクチョウがロシア・サハリンで確認されている。今回確認されたコハクチョウは、三月下旬に同公園で標識を着けて放したコハクチョウがロシア・サハリンで確認されたこと、同公園の神谷要

山口県(12)

標識コハクチョウロシアで確認

月中旬にサハリンで狩猟者に撃ち落とされたのが確認されたらしい。

渡りルートはこれまで

推定されていた、サハリン

ルートの変更となる

が、撃たれて見つかった

指図員は「今後、ロシア

側との交流を通じ、コハ

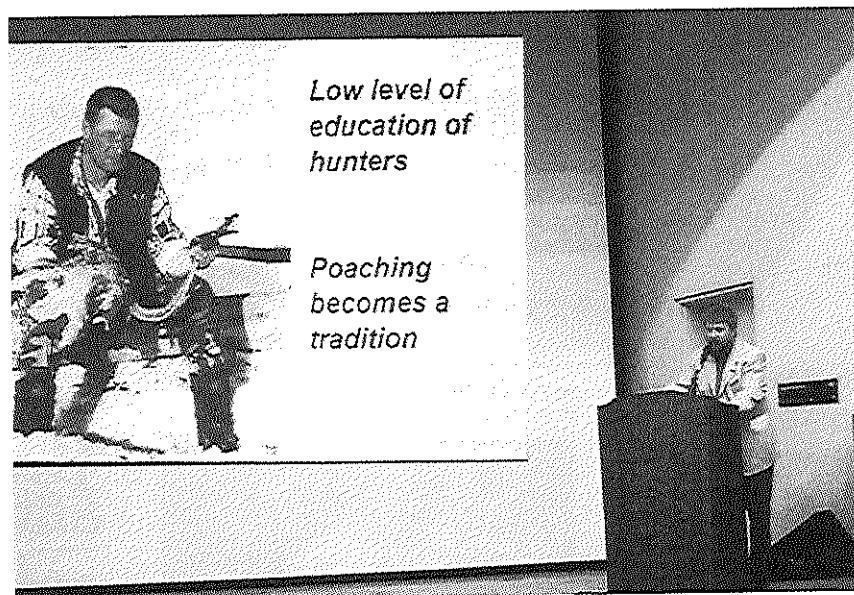


図2. 韓国での東アジア・シベリア地域・ガンカモシンポジウムで、ロシアの密猟について語るシロチェコフスキーJr氏。ロシアではハンターへの教育が不十分で、密猟が伝統的に行われている。

ハクチョウは狩猟の対象外となっている。今回の件はどちらかわからないが、昨年韓国で開催された東アジア・シベリア・ガンカモ類シンポジウムにおけるシロチェコフスキーJr氏の発表(Syroechkovski 2003)(図2)によると、ハンターの教育が行き届かず、ハクチョウやカリガネなどの狩猟禁止の鳥も犠牲になっているという。

また、ロシア極東のガンカモ類についてまとめた極東鳥類研究会(1999)の「極東の鳥類16」では、ロシアの多くの研究者がハクチョウ類の密猟が多いことを記載しており、標識鳥(016C)も犠牲になった例もある。実際に筆者も、レナデルタでハクチョウを撃って食べるという話を、地元の猟師から聞いた(神谷 2002)。さらに、2003年1月には、米子水鳥公園で弱って死んだコハクチョウからは、狩猟で受けたと思われる鉛散弾も見つかっている(毛利 2003)。これらのことから、日本に飛来しているハクチョウ類の多くが、実質的に狩猟の対象になっている可能性が高い。

しかし、極東におけるハクチョウ類の個体数推定値は増加しており(Wetland International 2002)、ロシアでは極東地域インディギルガ川周辺でオオハクチョウの個体数増加が、マガンの生息を圧迫しているという話もある(藤巻 2001)。日本でも環境省の絶滅の恐れのある生物のレッドリスからコハクチョウ、オオハクチョウははずされている(環境省 2000)。

ただこの状況は変化していることも考えられ、ロシアの経済的破綻により一時的に密猟が減少している可能性もある。今後、ロシアの経済状況が回復しているなか、ハクチョウ類の個体数のモニタリングをしっかりと行っていく必要がある。

- 藤巻裕蔵. 2001. 餌付けを考える. 日本の白鳥 (25) : 30-36.
- 神谷要・ウラジミール, P. 2002. 米子水鳥公園とレナデルタの国際交流とコハクチョウへの首輪標識. 日本の白鳥 (26):10-19.
- 環境省自然保護局野生生物課. 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物(鳥類). 自然環境研究センター, 東京.
- 極東鳥類研究会. 1999. 極東の鳥類16, ガン・ハクチョウ類特集, 極東鳥類研究会, 帯広.
- 毛利崇. 2003. 散弾が確認されたコハクチョウについて. 日本の白鳥 (27) : 24-25.
- Syroechkovski, E. J. 2003. A review of population declines of waterfowl in East Asia. 2003 International Anatidae Symposium in East Asia & Siberia Region, 49-50.
- Wetlands International. 2002. Waterbirds population estimates, third Edition. Global Series (12), Wageningen, Netherlands.